

## 活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	緑を楽しむ講座 柏 「江戸の中山道」 ～日本橋から本郷へ～		
開催日時	2023年4月23日(日) 10時～15時		
開催場所	東京都中央区日本橋～文京区	一般参加者	27名

### 活動概要

今年度の第1回の講座は家康ブームに乗り、家康の江戸の町づくりをテーマに日本橋から本郷までの中山道を歩きながら街路樹を楽しむ企画とした。発表直後から人気が高く、すぐに定員に達した。東京駅日本橋口に集合。2班体制で行動する。

家康が江戸に入封して、直ぐに取り掛かったのは下記の5点。

- ① 人口百万人を有する機能的な江戸の街を作る
- ② 街道の整備（五街道）、一里塚の設置
- ③ 水運と水道の整備・・・埋め立てと利根川の東遷、荒川の西遷、神田上水、玉川上水
- ④ 一国一城令
- ⑤ 貨幣制度の推進

上記のような事を話しながら、中山道のスタート地点日本橋へと向かい、神田、お茶の水へと歩いた。上記②の街道整備では当時の並木道の効用と合わせて、現在の街路樹について説明。中央区ではシナノキ、プラタナス類、ハナミズキ、サクラが多いが、日本橋周辺ではソメイヨシノ、スズカケノキ、ケヤキ、イチョウ、クスノキが目立つ。

日本銀行本店のサクラ通りではソメイヨシノの並木道の下にベニバナシャリンバイが満開で目を楽しませてくれた。日本橋を通り、三越本店の屋上庭園を巡り、皇居と同じ標高であることやその植生を庭園にしていることを説明。ここで昼食をとる。

神田明神を巡り、最後に湯島聖堂へ。ここで楷書の由来となったカイノキ（楷の木）や珍しいシロマツ（白松）などを見る。シロマツの松ぼっくりを披露してアカマツやクロマツとの違いを説明。ここは儒教を広めた孔子廟であるので中国原産の植物が多い。

朝方は少々寒さを感じたが、午後になって天候も良くなり、無事に終了した。終了時間は30分ほど伸びて15時に終了。次回も楽しみにしている声を聞いて嬉しい。



F I C チーフ講師：風見信昭、アシスタント講師 西元生